

コミュニティ・スクールだより

令和4年度も各学校運営協議会でCS活動に取り組みました

今年度の氷川町CS活動テーマ「郷土愛を育むCS活動の充実」に向けて、さまざまな活動を行いました。特に今年度から仲間入りした子ども委員の活躍により、子どもたちが主体的に意見し、CS委員と協力することでさらに活動が活発になりました。

また、地域の皆さんにも協力や支援をいた

だき、とてもありがたく思います。子どもたちも、たくさんの人に応援されていることを肌で感じ、ふるさとの良さに触れ、さらに頑張る様子が見られました。

たくさんの人と関わるなかで、子どもたちの活躍の場が広がっています。



▲地域の皆さんに見守られて下校(宮原小)



▲梨マラソンを盛り上げる応援うちわ作り(竜北東小)



問 氷川町小中学校コミュニティ・スクール連携協議会事務局(学校教育課内) ☎0965-52-5859

地域学校協働本部だより

子どもも大人も夢中、笑顔はじける昔遊び

宮原小と竜北西部小の1年生が、昔遊びを楽しみました。

宮原小はけん玉や、お手玉、凧など6つのコースに分かれて、竜北西部小はコマ回しを地域の皆さんと一緒にチャレンジしました。

自然と笑顔があふれ、寒さを吹き飛ばす楽しい時間になりました。



▲昔遊びに夢中になる子どもたち

問 氷川町地域学校協働本部(生涯学習課内) ☎0965-52-5860

いきいき感謝祭に向けて

竜北東小の6年生が「いきいき感謝祭」に向けて、クッキー作りをしました。材料に5年生が作ったもち米を使い、もち米粉100%の勾玉型のクッキーができました。

決まった分量の材料から30個のクッキーを作り出すために、みんなで知恵を出し合って工夫する様子が見られました。



▲協力してクッキーを作る子どもたち

寒さの中で朝のボランティア

竜北西部小

6年生は毎日、登校するとすぐ朝のボランティア活動に取り組んでいます。最上級生として学校を良くするため、4月から継続して主体的に活動しています。寒い冬の朝も熱心に活動する6年生の姿は、下級生のお手本となっています。卒業式まであとわずかですが、朝のボランティア活動は6年生の大切な思い出となることでしょう。



氷川町の魅力発信!

～3年ぶりの「いきいき感謝祭」～

3年ぶりに「いきいき感謝祭」を開催しました。本校では、ふるさとを知り、元気になる取り組みとして学年に応じた起業体験活動の実践を進めてきました。

いきいき感謝祭では、地域の皆さんから学んだことを発表したり、学びを生かした手作りの商品を販売しました。子どもたちも一生懸命準備を進めてきた分、達成感も大きかったと思います。



2年生が電車に乗る学習をしました

宮原小

1月20日に、2年生が公共交通機関の利用の仕方を学ぶ学習を行い、有佐駅から新八代駅への切符を自ら購入し、電車に乗り、電車利用の仕方やマナーについて学びました。

電車に乗る機会が少なくなった子どもたちにとって貴重な体験となりました。また、博物館では「八代子ども工作・創作展」を鑑賞しました。



氷川っ子

スクールニュース

各校の「氷川っ子」の取り組みを紹介します。

ドキドキの面接練習
～学校運営協議会の取り組み～

竜北中

1月末より、公立前期や私立専願・奨学などの入試が始まりました。これらの入試では、個人面接・集団面接が実施されることもあるため、「人生初の面接」に挑む中学生のために、CS委員さんを中心に面接の指導をして頂きました。回を重ねるごとに受け答えも上手になっており、自信を持って本番を迎えることができました。

生徒たちが、多くの場面で地域の皆さんに支えて頂いていることに深く感謝いたします。



令和5年も地域からの学びでスタート!

氷川中

気持ちも新たな新年、今年も書き初め大会でスタートしました。書き初め大会には多くの「習字の先生」からご指導いただきました。

1月17日には、2年生の道徳の授業で郷土の偉人である故・光永星郎氏から学ぶ「氷川の火打ち石」を学習しました。ゲストティーチャーとして八火図書館の三枝館長に来校いただくなど、地域学校協働活動でのご支援に深く感謝いたします。

